

## 第2回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月15日(木) 午前10時00分
- 2 開催場所 大町市役所 東中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎  
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆  
委 員 下 川 清 志  
委 員 森 し の ぶ  
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者  
教 育 次 長 太 田 三 博  
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規  
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之  
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫  
山 岳 博 物 館 館 長 鈴 木 啓 助  
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁  
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄  
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 長 渡 邊 哲 也
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

中村教育長：ただいまより第2回教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

最初に議事録の承認ということで、お読みいただきご署名の方よろしくお願いいたします。  
では次に教育長の報告ということで資料の1ページの方を見ていただきたいと思います。

中村教育長：教育長報告 資料により説明

中村教育長：以上になりますがご質問がありましたらお願いいたします。

では続きまして報告事項の方に移りたいと思います。

平林学校教育課長：学校における事件・事故等について 資料により説明

〈内容非公開〉

中村教育長：それでは議事の方へ移りたいと思います。議案第1号、大町市公民館規則の一部を改正する規則制定についてお願いします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：ただいまの第1号議案について、ご質問等ありますか。

中村教育長：続きまして、議案第2号、大町市民俗資料館規則の一部改正する規則制定について、説明をお願いいたします。

藤巻生涯学習課長：資料により説明

中村教育長：こちらも公民館と同様に使用の許可書、申請書との関係の整理という形になりますが、ご質問等ありますか。

中村教育長：次に、議案第3号になります。

令和6年度大町市一般会計予算について説明をお願いします。

平林学校教育課長：資料により説明

藤巻生涯学習課長：資料により説明

松下スポーツ課長：資料により説明

**鈴木山岳博物館長**：資料により説明

**中村教育長**：それでは質疑をしていきたいと思います。最初に学校教育課についてご質問がありましたらお願いいたします。

**森教育委員**：授業クリニックでお世話になっている村瀬先生が先月 1 週間ほど大町に滞在されたが、滞在費はどこから出るのですか。

**山岸学校指導主事**：村瀬先生には授業クリニックという立場と第三者評価ということで年 2 回お越しいただいております。2 回のうち 1 回は学校に予算付けられた特色ある教育事業の中から支払いをし、もう 1 点については授業クリニックという形で計上しております、こちらの方から謝礼並びに第三者評価の方も含めてお支払いをするということになっております。

**下川教育委員**：まず、GIGA スクールの運営支援業務委託について、こういったところに委託するのですか。

**平林学校教育課長**：こちらの業務内容ですが、今年度までは I C T 機器を運用している中で不具合等があった場合は、職員が対応しておりましたが、限界となってきたため、次年度から困った部分やセキュリティの部分で制御をかけたりなど、そのような部分の業務を業務委託して対応していないということで、来年度からそのような業務委託を行うようになっております。

**下川教育委員**：どこに委託するのですか。

**平林学校教育課長**：まだ決まっておりません。専門業者になります。

**下川教育委員**：その業者なりをどうやって選ぶのか教えてください。また場合によってはエキスパートの人を雇うということも考えているのですか。

**平林学校教育課長**：これは 5 万 5000 円で 12 ヶ月というような予算で積算しておりますが、詳細は決まっておりませんが、考えているのは、一括 12 ヶ月分委託する方法と、その案件ごとに払っていくかなど、検討しているところでございます。

**下川教育委員：**大北地区として同じような悩みを各学校抱えているのではないかと考えているので、その辺の業務も、みんなで話し合っ、どこかに任して、経費削減も含めてやるのはどうかと思う。

**平林学校教育課長：**他の自治体を調べたところ、先ほど説明しました2種類で他の自治体も運用しているようでありました。

**下川教育委員：**他のところも調べてもらって、大町にふさわしい計画でということですね。わかりました。ありがとうございました。

次に、7ページ、デジタル教科書ライセンス料ということですが、今まで試行的にデジタル教科書って使っていたと思うのですが、これはどういうものでしょうか。

**平林学校教育課長：**教師用指導書、教科書も購入するのですが、それに付随するものであり、いわゆる指導者用のライセンス料ということになります。

**下川教育委員：**デジタル教科書は、学校で英語だけとか数学とかで試行的にスタートしていたと思っているのですが、現状はどうなっているのですか。

**中村教育長：**今年度、国の方から英語については、小学校5・6年生と中学校の方に出ており、いますが、算数・数学については、数が限られているので、希望をとってやっております。

それともう1点は、各学校から希望があった教科について、ライセンスを取って使用するという形をとっております。

八坂小中学校は子供の数が少ないものですから、児童一人一人の形で対応できるが、他の学校は人数が多いので、無理なので、教師の指導用もデジタル教科書を採用するという形で今対応していますが、まだ来年度については、これから希望取ったりすることになります。

**下川教育委員：**いろいろと試行して希望を聞きつつ国の流れにのったり、市として学校の要望を聞いて対応していくということですね。

**中村教育長：**学校には、デジタル教科書を使って欲しいとお願いしております。やはり先生方が実際に使わないと、そのよさ、または課題とか見えてこないの、昨日の校長会でもお願いしましたが、ぜひ、各学校で使ってもらいたいということはお願しました。

**下川教育委員：**去年、八坂小中学校の学校訪問時の算数の授業で、先生がデジタル教科書のアレンジして、わかりやすい問題で授業しているところを見ました。デジタル教科書を使って効果があったという事例を先生方で共有していただければ、より広がるかなと思います。

**中村教育長：**次の学習指導要領の改定の際には、デジタル教科書はもう一般化する可能性はすごく高いかなと思います。

今の段階でどんどん使うことを、まずは使うことをやっていただきたいなと思います。

**下川教育委員：**次は、8ページの14の項目です。

いよいよ小学校の施設改修が始まるということで、金額については、今やっている実施計画をベースに、業者を選定して、このぐらゐの額で見積もったということでよろしいですか。

**平林学校教育課長：**金額につきましては、まだ細かな金額が出ておりませんので、実施計画に基づいた予算を計上させていただいております。

**下川教育委員：**最終的には業者は、改めて選定するのですよね。入札ということですか。

**平林学校教育課長：**工事業者につきましては入札により業者を選定していくという形になります。

**下川教育委員：**ここに「統合」という言葉があるが、再編の様々な審議会等の流れの中でも考え方として「統合ではなく再編」だということやってきたので、「統合」という言葉はちょっとどうかなと思います。私は再編と書いていただければという感想です。

**平林学校教育課長：**今回、「統合」と記載したのは、国の補助事業上のメニューの中で、統合というものがありますので、そちらを使わせていただいたということでご理解をお願いいたします。

**下川教育委員：**わかりました。それから11ページ。

美麻小中学校の仮設の特別支援教室、これはコンテナタイプのレンタルという形ですか。

**平林学校教育課長：**そうですね。月々のレンタル料を令和6年度から必要になりますので、12ヶ月分計上させていただいております。

**下川教育**：この教室はいつまで使う予定ですか。

**平林学校教育課長**：今回、特別支援学級が一クラス足りないということで設置しておりますので必要なくなれば撤去ということになります。

**北澤教育委員**：10ページのスクールカウンセラーの報酬が1人となっているのですが、現在はスクールカウンセラーの方は市内全部で1人だけですか。

**平林庶務係長**：現在は県費のスクールカウンセラーが2名おり、市内の小中学校を担当していただいておりますが、その不足分を市の方で補っているということでございます。県費合わせば3名になります。

**北澤教育委員**：1人でみていらっしゃるのかと思ったので、良かったです。

あと、最近スクールロイヤーとかという話も聞くのですが、大町市の方ではまだそういうことは考えてないのでしょうか。

**中村教育長**：まだ今のところはでていません。スクールロイヤーを配置していくという国の方でも話が出ていましたので、状況をみて判断かなとも思います。

**森教育委員**：中学校の体育館の照明の件ですけど、保護者の方から、暗いから何とかして欲しいとの苦情が入りまして、それを平林課長にご相談させていただきました。今回プロポーザルのことがあったので迅速に対応することが難しい状況であったと思いますが、生徒たちの教育環境を整備していくことはぜひ優先的にお願いしたいなということを思いました。

それで9ページに、大町中学校の照明LED化の事業リースが9月からとなっておりますが、それまでは全部の照明がついていない状態ということですか。

**平林学校教育課長**：大町中学校の体育館の照明につきましては、確認しましたところ、32灯あるうち、12灯しか点いておりませんでした。電球切れなのか、機器の不具合なのか調べた結果、32のうち20までは点くということでした。8つの球切れが原因だったので、現在電球を購入するために発注をしております。届き次第すぐに、電球の取りかえを実施する予定であります。ですので、32分の20のまま、令和6年度の夏休みまで何とか授業をと考えております。もともと20くらいあれば明るさは確保できていた記憶がありますので、多分それでいけるだろうというふうな判断をしているところです。

**下川教育委員**：今の32分の20で大丈夫だという話ですが、教室も含めて体育館は、照度計で測って、必要な照度を確保できているか確認するのではないのですか。

**平林学校教育課長**：はい。体育館の照明について調べ、確認をしました。  
設置については照度計で測って確認をすると考えています。

**中村教育長**：他には、学校教育課の関係でございませうか。  
では続きまして生涯学習課の方に移りたいと思います。

**森教育委員**：平公民館の状況しかわかりませんが、公民館は当面の間はエアコンを設置する予定はないのでしょうか。

**藤巻生涯学習課長**：実施計画の中で要求はしましたが、まだ予算的に難しいということで、学校再編の工事が終わってから、施設の方の設備ということで、8年度以降ということになると思います。

**下川教育委員**：17ページ、18の項目の2の補助金で、コミュニティ振興対策事業補助金ですが、これは分館単位で要望を出して、要望がいくつかある中で優先順位をつけて、先ほどご説明いただいた3分館について、予算が付いたということだと思いますが、そうすると次年度以降考えますという分館がいくつかあるという理解でいいですか。

**藤巻生涯学習課長**：要望があったのは4分館で、今回予算の関係と、あと前回修繕を行っているところは優先順位を下げさせていただき、今回は3分館を優先という形で整備の方をしていただくようにさせていただきました。

**下川教育委員**：宝くじ振興でコミュニティ事業の助成金がありますが、そういう関係は、生涯学習課の予算の中に含まれるのですか。

**藤巻生涯学習課長**：宝くじ関係についてはサポートセンターの方での対応になります。

**下川教育委員**：19ページ、文化会館の天井の改修ですが、以前見積もり金額がだいぶ増えたので、工事期間を少し延期するような形で見積額を見直すということで現状に至ったと思っておりますが、今回、再見積もりをし、この1億7000万円でやるという意味決定したということですか。

**藤巻生涯学習課長**：昨年 10 月に専門家の調査をさせていただいて、こういった方法がいいかということで検討させていただき、今回のこの 1 億 7200 万というのは、2 か年の事業のうちの一部になり、全体としては約 4 億円を考えています。

**下川教育委員**：北部小の改修事業も来年度から始まり、教育委員会に関わる支出があるのですが、財政の関係も含めて、来年度に 1 億 7000 万でスタートして、2 ヶ年で文化会館を仕上げてしまうということですか。

**藤巻生涯学習課長**：LED の工事も含めた中での、工事として考えておりまして、地方債が利用できる、期限もあったものですから、状況も考えて、今回は令和 7 年という形で工事を予定しております。

**中村教育長**：他にご質問等ありますか。

では続きましてスポーツ課の方についてご質問ありましたらお願いします。

〈質問なし〉

**中村教育長**：山岳博物館についてご質問ありましたらお願いします。

**下川教育委員**：来年度の予算の中で、動植物園の整備に関わる事業のお金は、盛り込まれているのでしょうか。

**鈴木山岳博物館館長**：修繕費の中で、付属園内緊急修繕ということでもありますので、修繕についてはそれが必要な場合について、30 万円計上しているという状況でございます。

**下川教育委員**：新しいプランの実行は、やはりタイミング的に今は難しいということで、早く作っていただきたい気持ちは前からずっと思っておりますが、学校再編や文化会館もあるし、もう少し待たないと具体的に、お金をかけてというわけにはいかないのですね。

**太田次長**：今、お話ありましたが、学校再編、文化会館の改修、当初予算には載っておりませんが、国民スポーツ大会、これが令和 10 年の大会まで続いていきますので、付属園の改修についてもやはりこの数億円という単位になっていきますので、ある程度その辺が、出来て来たところまでということになってくるという感じですよ。

**下川教育委員**：国スポは、補正でやるんですね。

**太田次長**：内容は決まっているのですが、運動公園を直すための補助金の内示が今年の4月にありますので、その辺の見通しを立ててから、6月か9月に補正するという予定であります。解体、設置については6年か7年でやっていきたいと考えています。

**下川教育委員**：ボルダリングの会場が北高というような話は。

**太田次長**：それは、水面下で交渉、調整を進めております。

**中村教育長**：他によろしいでしょうか。

では令和6年度の教育委員会部分の一般会計の予算案についてはご承認いただけますか。

〈承認〉

**中村教育長**：ありがとうございました。

では、議事の方はここで終わります。次に協議事項ということで、最初に学校再編についてよろしいでしょうか。

**平林学校教育課長**：資料により説明

**渡邊学校再編係長**：(校舎平面図) 資料により説明

**中村教育長**：ただいま学校再編に関しまして、学校プールのあり方について基本的な方針、あと現在の北部小学校の設計の状況について説明をいただきましたが、何かご質問等ありましたらお願いします。

**北澤教育委員**：1枚目の全体図ですが、グラウンドの左下の三角の部分はどのようなものになりますか。

**平林学校教育課長**：現在も木が植わっておりまして、開校時も植樹ゾーンというような形での整備を考えております。

**北澤教育委員**：その上の場所は、遊具を置いたりして低学年が遊べるような場所になるとと思いますが、その間にある道路は車が通るのですか。

**平林学校教育課長**：こちらの道路は現在も車1台は通れるような形になっています。幅がそのまま確保するか或いは人だけにするのか、検討して参りますが、こちらの通路は確保して、いずれにしましても駐車場から学校の校舎に行けるような形で設計したいというふうに考えおります。

**北澤教育委員**：児童の遊ぶ場所に、車道が通っているっていうのは、ちょっといろいろ危険じゃないかなと思うがいかがか。

**平林学校教育課長**：今回、技術提案の中で、児童たちと車とは分離をしたいというコンセプトとなっておりますので、先ほど、駐車場に向かう道につきまして車両は通さない予定でおります。

**北澤教育委員**：現在も駐車場があると思うのですが、それはそのまま駐車として使用するのか。

**平林学校教育課長**：職員駐車場として使用いたします。

**中村教育長**：プールの横の森は、昔は「一中の森」という名称で、木はたくさん残したいという当時の校長先生の思いで残したものであり、現在は相当に大きくなったと思います。

**下川教育委員**：1ページの図面で特別教室棟という表現がありますが、南棟とか北棟とかの表現になっていると思うので、修正をお願いしたいのと、それから、右下の工事名の修正、それからその下の発行日が、3月31日になっているが、この日付にする理由は何か。

**平林学校教育課長**：最初の1点目の校舎の名称につきましては、名称変更して参ります。図面右側の、仮称の部分については修正してあります。あと発行日についても、明記をしない形で訂正をいたします。

**森教育委員**：特別棟のところに増築する部分ですけど、イメージ的にはどのくらいの大きさをイメージすればいいですか。

**平林学校教育課長**：北小のプレイルームがございしますが、まず長い辺は、この長い辺とほぼ一致すると思います。

ただ横の長さは北小ほどないので、全体的には北小よりも小さい形のスペースになります。

**下川教育委員：**75 ページの北部小学校について、プール整備を行わないと言い切っていますが、その前に、北部小学校については民間プールを利用することとし、プールの整備は行わないというふうに、民間プールを利用するっていうところにアンダーラインをした方がいいのではないかなと思っています。

75 ページの一番下に、アンダーラインでプール整備は行わないとされているが、それよりも、民間プールを使うということをここで決定したということを結論的に出してほしい。

**平林学校教育課長：**この部分の主題がプールの整備についてということなので、それに対して整備は行わないとの結論で出させていただきましたので、こういった表現になっております。

**下川教育委員：**そういうふうに言えば、その前の 74 ページに、北部小学校については民間プールの利用をということで、ここで結論づけているが、その根拠は次のページになっていて、そこは違和感がある。

この前の委員会の資料では、北部小学校は入っていないくて、プールについては検討しますとの表現でした。私はその表現をして北部はどうするのかというシミュレーションをした結果、民間を使うのでプールの整備はしない。

そのような流れから考えると 74 ページの北部小学校は、前の資料のように、ここは記入しない方がいいと思います。

**中山教育長職務代理者：**大町市全体のプールのあり方についてというものがまずあって、それについてはやはり北部小学校も入れて欲しいと。

この前の資料は別々になっていたもので、大町市全体の学校再編に関わるプールに関する基本方針とすれば、最初に北部小も入れた結論を出したほうがいいのではないかというのが私の出した意見です。

**平林学校教育課長：**74 ページの 5 番になりますが、この文面の部分で、「水泳授業は各校において現在運用しているプール授業を基本に実施する」となっていますので、プールがある学校の授業を基本に実施というふうにならっています。その上で、北部小については、もう旧一中のプールは使えないということをやっていますので、ここで明記するのは問題ないということでもありますし、流れ的にも問題ないかと思えます。

**中村教育長：**この問題については、何度も論議してきましたが、最初のところで、大町市としてプールについては、このような方向でということで、その中には整備するというこ

とと、民間プールの利用も全部含めた形で、大町市としては今後の学校のプールについては、こういう方向でいきますよということを、まず、きちっと出したわけです。

そして、2番目の方で、北部小学校のプールのことについて、大町の方針に沿って、北部小のプールについて整備はしないという方向に結論付けるという形にまとめてあります。

民間プールを利用するというのは、その前半のところ、大町市の学校プール全体のあり方の中にも、こういう方向で、大町市内の学校についてはこういうことと示してあるものであります。

**下川教育委員：**そういう方針であれば、72ページは参考資料的なものとなり、逆に言えば、一中では既に使用してないので、その一中をベースに新しい小学校を開校するのであれば、その流れからすれば、民間プールですという結論は出ていると思うが。

**中村教育長：**当初の設計の段階ではプールの整備は入っていましたので、それを変わるとなると、この整備の方針を、ここできちんと打ち出さないといけないかなと思っています。

**下川教育委員：**それは前半の部分ですか。

**中村教育長：**前半の部分と、そしてそれを受けて具体的に北部小学校はこうですという、そんな流れが必要かなと思っています。

**中村教育長：**他にはよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは2番目の、いじめ認知状況についてご説明をお願いします。

**山岸教育指導主事：**資料により説明

**中村教育長：**いじめの認知の報告についてはご質問ありますか。

**下川教育委員：**重大事案は市長部局で対応という動きは全国的なものですか。教育委員会だけで対応するとちょっとねという関係がいくつか出てきているからということでしょうか。

**中村教育長：**では続いて、第三者評価報告ということでお願いします。

**山岸教育指導主事：**資料により説明

**中村教育長：**この第三者評価ですが、学校評価でこの第三者評価までやるところは非常に少ないと思います。この東小の先生方の最初の反応もやはり、第三者評価に対してはとても後ろ向きで、あんまりやって欲しくないなという声もあったようですが、ところが実際に村瀬先生に入っただいて、第三者評価をしてもらったところ、これはとても学校にとっては、ありがたいねという、そういう声に変わっているっていうのをお聞きしています。

大町市の場合、コミュニティスクールを取り入れて、地域と学校の垣根がだいぶ下がってきたということは思っています。

新しい学校づくりとして、地域とともに学校づくりをしていく、また学校とともに地域をつくっていくという、今の教育の目指していく流れの方に少しでも近づいていくながら、少子化の中でも子供たちを大事に育てていくというような市全体の雰囲気になっていけたらいいのかなと思っています。

ただ心配なのは、この学校評価の自己評価、関係者評価、第三者評価もそうですが、形式的にならないようにだけは、教育委員会として舵取りをしていかなければならないというように思っています。

この第三者評価報告書について何かご質問等ありましたらお願いします。

**中山教育長職務代理：**村瀬先生が大町市に入ってきた経過が、教育委員会の中ではあまり共有されてなかったように思う。

村瀬先生という先生のことについて、あまり情報がないなという気もするので、村瀬先生のことをぜひ紹介していただければありがたいと思いますので、ぜひお願いします。

**中村教育長：**資料をまとめて、また出したいと思います。  
では次にスポーツ推進計画案についてお願いいたします。

**松下スポーツ課長：**資料により説明

**中村教育長：**スポーツ推進計画についてご説明いただきました。  
ご質問はありますか。

**中山教育長職務代理：**計画に関してはこれでいいと思うのですが、具体的な推進のところ  
で、だんだん高齢化し、協力して欲しい団体そのものが、若干衰退しているように思う。

そういう実際の推進のところでの課題について、すでに手を打ち始めているとかそういうようなことがあるのですか。

**松下スポーツ課長**：それぞれの団体の現状につきましては、かなり高齢化となっております。新規の方の加入というのが少ない状況となっております。

その中で、私どもとしましては、今のスポーツ協会となりますけども、スポーツ協会の強化ということで、地域の加盟者の増加をお願いしたいということとともに、新しい団体の加入についても、現在検討している団体もあるようですので、何とか市のスポーツ振興を図っていききたいなと思っております。

**中山教育長職務代理**：いつも思うのは、大町市は広域なので、スポーツ振興といってもなかなか難しいだろうなんてことは思うので、国スポみたいのを中心にしながら、市としての若年層から高齢者まで、健康づくりができるような組織を進めていただければありがたいと希望します。

**中村教育長**：今回の推進計画のとらえとして、要はスポーツの範囲をすごく広げて捉えております。

やはりスポーツというのは、基本は遊びからスタートしている方も多分多いと思う。ですからみんなが気楽に、いつでもできる、そういうものができる状態というのがすごく、理想だと思います。

ただ、そこをどう進めていくのかというのは難しいことだと思います。

**中山教育長職務代理**：スポーツ推進ではないですが、まちづくりをどうするか、人口減の中でどうしたら活性化したまちづくりができるかということで、様々な先進的な取り組みの情報がありますが、学校ぐらいの広い敷地があって、そこをサッカー競技場みたいな感じに作って、そこに様々な人たちが練習に来れるような環境を作って、人が集まってきて、それを中心にしながらまちづくりをしていったというような、結構面白い実践だったというのがあって、スポーツだけじゃなくて、まちづくりと関係してくるといいなと、スポーツは大事だなと思うのでよろしくお願いします。

**下川教育委員**：学校教育において部活動の地域移行とかクラブ化という話があって、それも指導者をどうするかなど課題もみえてきたと思う。今回の推進計画の中で、そういう動きに対してこうやろうという、ご提言はあるのですか。

**松下スポーツ課**：106 ページになりますが、生涯スポーツの推進の中で、学校部活動の地域移行の推進というところをうたっています。

その中で、今後、関係団体、スポーツ協会、またスポーツクラブ等も含めまして検討を行っていくということを記載させていただいております。

ただ、大町市としまして、今、部活動につきましては準クラブとして、活動を行い始めたところでありまして、やはり一番は指導者の確保、それも含めて、どのようになっていけばいいのかっていうのは、今後の課題として挙げてあります。

**下川教育委員：**それはスポーツ協会のリーダークラスの人にも現状を言って、課題はこうであると言うような説明はしていただいていますか。

**松下スポーツ課長：**まだそこまでは言っていません。

**中村教育長：**大北圏内の他の町村の皆さん本当に困っています。

部活動を地域移行ということがむずかしい。地域に移行するなんてことは、受け皿がないです。多分、不可能に近いと思います。

**下川教育委員：**スポーツの範囲を広げてということもありましたが、確かにそういう方向性はいいと思いますが、では誰が先頭に立って具体的に動くんだというところは心配になるところではあります。

**中村教育長：**ありがとうございます。

他にはよろしいでしょうか。

では、国スポ・全障スポ準備委員会設立発起人会について、お願いします。

**牛越国民スポーツ大会準備室長：**国スポ・全障スポ準備委員会設立発起人会について説明

**中村教育長：**いよいよスタートしていきますね。よろしくお願いします。

以上で協議事項の方は終わりにしたいと思います。では、連絡事項ということでお願いします。

**平林庶務係長：**当面する日程及び今後の教育委員会等の日程について、資料により説明

**中村教育長：**以上をもちまして、第2回教育委員会の方終わりたいと思います。

ありがとうございました。

《午前12時11分 終了》